

古座川の火振り漁



古座川は紀伊半島南部の大塔山に源流を有し、熊野の山々からの滴を集めながら太平洋へと注いでいる約60kmほどの川です。昔から流域に住む人々にとって川は生活と切っても切り離せない関係にあります。川は鮎やうなぎ、川エビやモクズガニなど多種多様な生き物たちを育み、人々はその幸を求めて川へと入っていきます。とはいっても生き物たちも必死。なかなか簡単にはつかまったりしません。そこで人々は知恵をしばり、様々な漁法を考えてきました。落ち鮎を狙う「古座川の火振り漁」はその一つです。

秋口の頃、産卵のために鮎は下流に集まってきます。夜になりあたりが暗くなった頃、川に刺し網を張っておき船頭と振り手2人1組で川舟に乗り込みます。船頭は舵取りをし、振り子は松明の炎を振りながら鮎を脅して網へと追い込み、最後に網をあげるとというのが「火振り漁」のやり方です。明治頃からはじまったとされ、現在では古座川中流～下流において広く行われています。

暗闇の中の炎と、炎を振るポウッポウッという音の幽玄な世界に浸りながら、川の幸に舌鼓をうってみませんか・・・。

「観光火振り漁」

～鮎の火振り漁を見学し、網からはずず体験ができます～

期間: 7月2日～9月10日

時間: 1時間

定員: 2人～

料金: 小学生以上2,000円(その他保険料350円)

予約: 2日前まで

備考: オプションで鮎の塩焼き弁当も注文できます。

定休: 8月14日～16日

問合せ先: 古座川町商工会

Tel: 0735 - 72 - 3110

Web: <http://www.kozagawa-field.net/>

「古式の火振り漁」

～火振り漁と田舎の味体験～

期間: 9月20日～11月末

時間: 約3時間

定員: 10～15人

料金: 一般4,000円、小学生2,000円

予約: 一週間前まで

備考: 天然鮎の塩焼き他夕食付き

問合せ先: たなみや東

Tel: 0735 - 72 - 2138

【お問い合わせ先】・・・古座川町役場産業振興課 観光担当

和歌山県東牟婁郡古座川町高池673-2 TEL: 0735-72-0180